



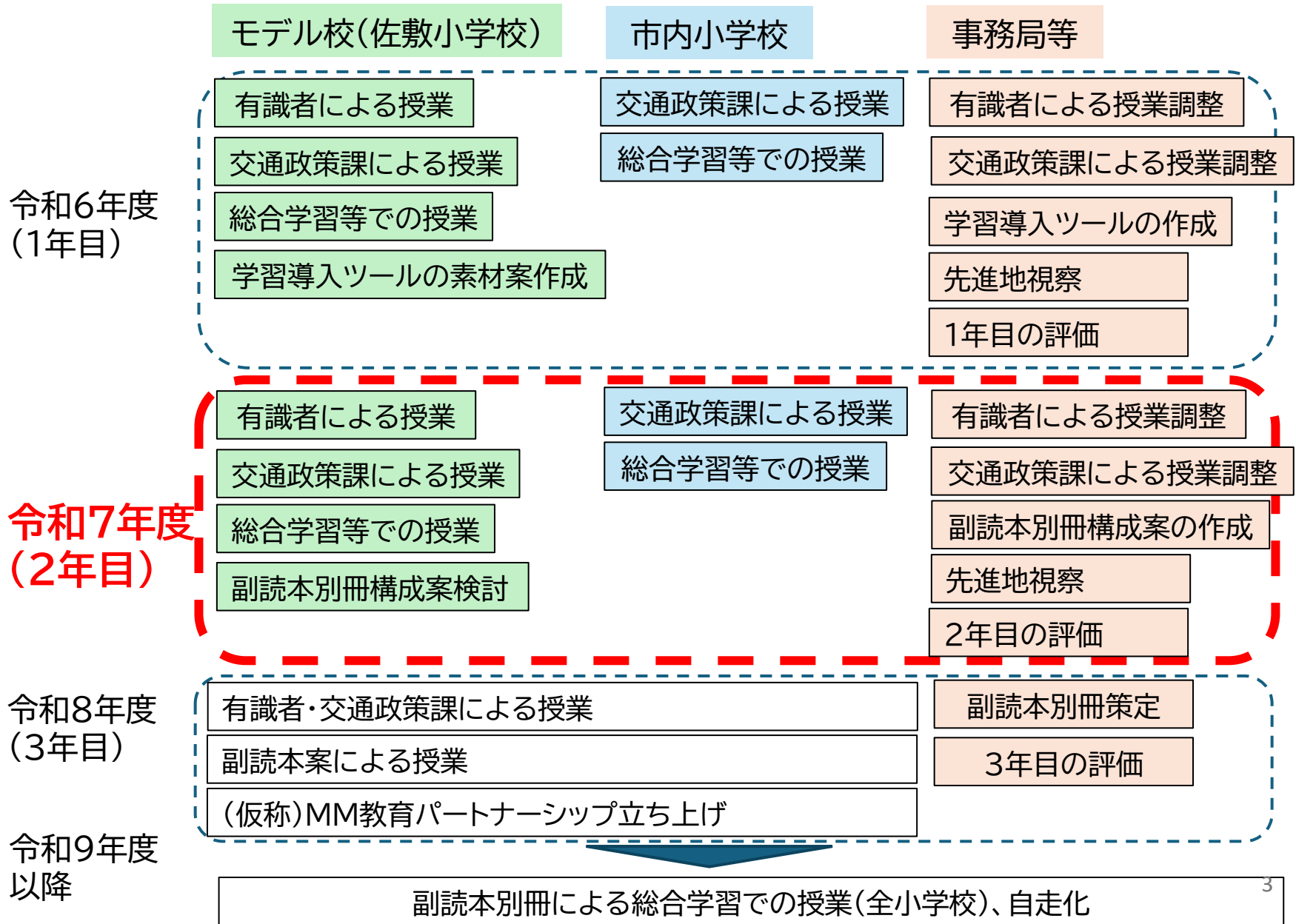
ハートのまち南城市へようこそ!

令和7年度 南城市モビリティ・マネジメント教育実施報告

南城市モビリティ・マネジメント教育推進委員会
令和8年3月25日

1. 事業実施の流れ
2. 今年度の実施概要
3. 今年度のMM教育実施内容
 - 3-1モデル校(佐敷小学校)での取り組み
 - 3-2百名小学校での取り組み
 - 3-3大里北小学校での取り組み
 - 3-4その他市内小学校での取り組み
4. MM教育アンケート
5. ツールの紹介
6. 先進地視察
7. 令和7年度事業のまとめ

1.事業実施の流れ



2. 令和7年度の実施概要

令和7年度の実施内容の概要

今年度は、モデル校である佐敷小学校を中心に、有識者による授業やポスターセッションなどの取組を実施いたしました。また、事務局においては、先進地視察およびMM教育のツール作成を行っております。

区分	取組名	取組概要
モデル校 (佐敷小学校)	有識者による授業	名桜大学特任教授の寺本氏、バスマップ沖縄主宰谷田貝氏による授業を実施
	市交通政策課による授業	南城市交通政策課による授業を実施
	乗車体験	Nバス乗車体験を実施
	ポスターセッション	各グループに分かれSDGsと公共交通を掛け合わせて授業を実施。
百名小学校	Nバス車内の飾りつけ	地域バスへの愛着醸成、利用促進に向け、七夕時にNバス車内の飾りつけを実施
	新聞作成	公共交通に関する授業を実施し、プレゼンテーション後新聞を作成。
市内小学校	Nバス車内飾りつけ	地域バスへの愛着醸成、利用促進に向け、ハロウィン等の時期にNバス車内の飾りつけを実施
事務局	先進地視察	MM教育の先進地である富山県富山市を視察
	ツール作成	乗る機会の創出のため「重ね捺しスタンプ」を作成

3.今年度のMM教育実施内容

3-1 モデル校(佐敷小学校)における取組概要

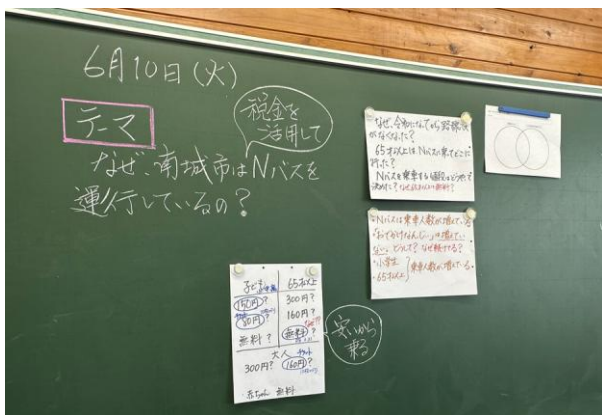
学年	実施月	取組名	取組概要
6年	6月	市交通政策課による授業	「なぜ、南城市は税金を活用してNバスを運行しているの？」をテーマに出前授業
	9月	市交通政策課による授業	「南城市の公共交通って？」をテーマに授業
	9月	Nバス乗車体験	乗車体験を実施。南城市役所を訪問し、Nバスと路線バスの違いや運転手にインタビューを実施
	9月	有識者による授業	「公共交通とSDGsの関係性を考えよう」をテーマに名桜大学特任教授の寺本氏による授業
	10月	有識者による授業	「クルマに頼りすぎない暮らしを考えよう」をテーマに谷田貝氏による授業を実施
	12月	ポスターセッション	『「SDGs」と「公共交通」みんなで「持続可能なまちづくり」をするために』をテーマに今年度の取組を踏まえ発表を実施
3年	6月	絵本の読み聞かせ	令和6年度本事業で作成した絵本(学習導入ツール)の読み聞かせ
		Nバス乗車体験	近隣スーパーまでNバス乗車

3. 今年度のMM教育実施内容

3-1 モデル校(佐敷小学校)における取組

①外部講師による授業(南城市交通政策課)

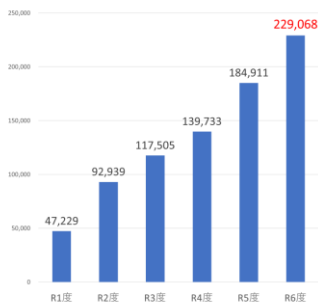
6月には、社会科の税金に関する授業の中で、税金を使ってNバスを運行している理由について授業を行った。また9月には、南城市内の公共交通の現状について説明を受けた後、実践編として、Nバスマップを活用し、目的地と時刻を設定して実際の行き方の授業を行いました。



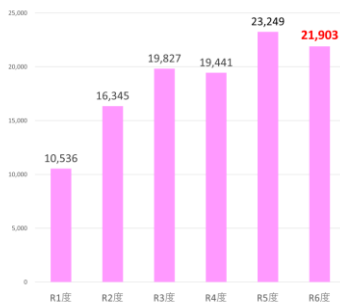
3. Nバスの利用状況



全体の利用者数推移



小学生の利用者数推移



▲授業の資料

4. モビリティ・マネジメント教育



モビリティマネジメント教育を通して、公共交通の理解を深めてもらうため、南城市交通政策課は、6年2組さんの**乗ってみたい！知りたい！作りたい！**を応援します！！

移動を楽しみ、
みんなで**乗り育てる**Nバスへ

Nバスマップを使って調べてみよう



実践編

Nバスマップで
行きたい場所を調べてみよう！

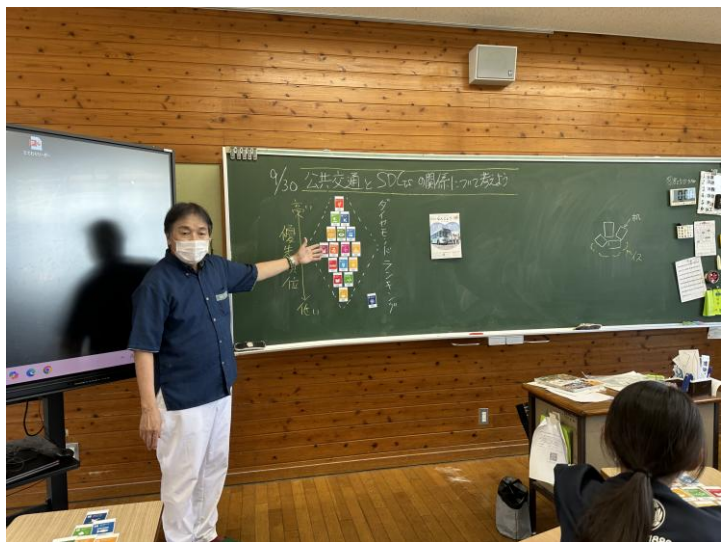


3. 今年度のMM教育実施内容

3-1 モデル校(佐敷小学校)における取組

②有識者による授業(寺本氏)

名桜大学特任教授の寺本氏を講師として招聘し、「公共交通とSDGsの関係性を考えよう」をテーマとした授業を実施しました。授業では、Nバスへの理解を深めるための「SWOT分析」や、SDGsの17の目標と公共交通の関連性について、どの目標との結びつきが強いかを順位付けして理解する「ダイヤモンドランキング」の手法を活用しました。



▲寺本氏による授業風景



南城市のNバス運行のコレカラをSWOT分析してみよう

Nバスの強み (長所)	S	Nバスの弱み (短所)	W
Nバス運行の機会 (チャンス)	O	Nバス運行の心配や怖れ	T

▲授業資料

3.今年度のMM教育実施内容

3-1モデル校(佐敷小学校)における取組

②有識者による授業(谷田貝氏)

バスマップ沖縄の谷田貝氏を講師として招聘し、「クルマに頼りすぎない暮らしを考えよう」をテーマに授業を実施しました。授業では、谷田貝氏が公共交通をメインに生活されている実体験をご紹介いただいたほか、過度な自動車利用がもたらす渋滞問題、環境や健康への影響について解説を行いました。

まとめとして、「車が悪いというわけではなく、車や徒歩、自転車、バスのいずれも立派な『暮らしのあし』であり、これらを賢く使い分けることがSDGsの達成にも繋がる」というメッセージがありました。

いろいろな「暮らしの足」

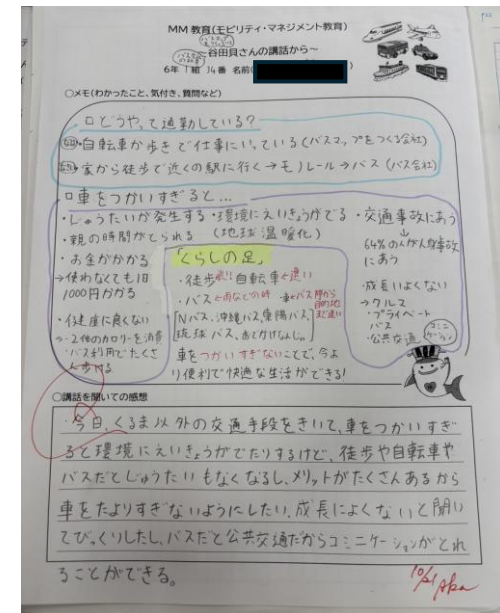


佐敷小学校から約1km、歩いて15分/自転車で5~6分

いろいろな「暮らしの足」

目的地までの距離	移動手段
近くなら、	歩いて行こう
歩いて行けない(ちょっと遠い)なら、	自転車で行こう
自転車で行けない(もっと遠い・雨が降っている)なら、	バスで行こう
バスで行けない(バス停から目的地がかなり遠い、バスの時間が合わない)ときはしかたなく、	クルマで連れて行ってもらう。その場合も、友達と行くなら1台のクルマに乗り合うなど、かしい移動を心がけよう。

▲授業資料



▲授業後感想



▲授業風景

3. 今年度のMM教育実施内容

3-1 モデル校(佐敷小学校)における取組

③乗車体験

実際にNバスに乗車して南城市役所まで移動しました。到着後、市役所にてバスの運転手へのインタビューを実施したほか、一般の路線バスにも乗車し、Nバスとの違いについて比較・学習を行いました。



▲乗車体験の様子

3. 今年度のMM教育実施内容

3-1 モデル校(佐敷小学校)における取組

④ポスターセッション

今年度は、社会科の授業を皮切りにMM(モビリティ・マネジメント)教育を実施いたしました。国語や総合的な学習の時間を通じて学んだ「SDGs」と「公共交通」の関連性について、児童たちがポスターにまとめ、各グループ5分間のポスターセッション形式で発表を行いました。また、発表会には5年生が聞き手として参加しました。

発表の一例として、「現在の気候変動とその対策について調べ、自家用車とバスのCO2排出量を比較した結果、自家用車の利用を控えることでCO2排出量を削減し、気候変動を抑えることができるのではないか」といった具体的な考察が挙げられました。児童たちが自ら役割分担を行い、主体的に発表に取り組んだことで、学習内容への理解がより一層深まりました。



▲ポスターセッション



▲寺本氏による総括



▲授業後振り返り

3. 今年度のMM教育実施内容

3-1 モデル校(佐敷小学校)における取組 3年生

①絵本の読み聞かせ・乗車体験

令和6年度のMM(モビリティ・マネジメント)教育の一環として、佐敷小学校の令和6年度卒業生が作成した絵本を活用し、読み聞かせを実施しました。児童たちは絵本を通じて乗車体験前の導入として、Nバスを含む様々な移動手段の利点を出し合い、Nバス利用のメリットについて理解を深め、バス車内でのマナーや乗車方法について学んだ後、実際の乗車体験を行いました。



▲読み聞かせの様子

3.今年度のMM教育実施内容

3-2 百名小学校4年生における取組概要

実施月	取組名	取組概要
6月	Nバス車内飾りつけ (七夕)	地域バスへの愛着醸成、利用促進に向け、七夕仕様にNバス車内の飾りつけを実施
9月	市交通政策課による授業	「南城市の公共交通って？」をテーマに授業を実施
11月	乗車体験 (南城市役所)	南城市役所でNバス、防災倉庫、議場、教育委員会の現場を視察 社会科の授業とMM教育を合わせて実施
12月	乗車体験 (斎場御嶽)	身近な地域にある世界文化遺産の「斎場御嶽」を見学 社会科との授業とMM教育を合わせて実施
2月	有識者による授業	「南城市のみんなのバス「Nバス」が走るわけ」をテーマに谷田貝氏による授業実施
3月	プレゼンテーション	今年度の取組を踏まえ、新聞にまとめるための事前プレゼンテーションを実施。有識者の谷田貝氏も参加しました。
3月	新聞作成	今年度の取組を踏まえ新聞を作成

3.今年度のMM教育実施内容

3-2 百名小学校4年生での取組

①Nバス車内の飾りつけ(七夕)

地域バスへの愛着醸成および利用促進を目的として、交通政策課による事前説明を行った後、児童たちによってNバス車内を七夕仕様に飾り付ける取り組みを実施いたしました。

なお、百名小学校の4年生については、2学期より社会科および総合的な学習の時間においてMM(モビリティ・マネジメント)教育を実施する予定であることから、その導入として行いました。



▲事前説明



▲飾りつけをしたNバス車両



▲飾りつけ後感想 13

3. 今年度のMM教育実施内容

3-2 百名小学校4年生での取り組み

② 外部講師による授業(南城市交通政策課)

社会科および総合的な学習の時間を活用したMM教育の導入として、交通政策課による授業を実施いたしました。

4年生の児童がNバスに興味を持てるよう、Nバスのナンバープレートの意味や運賃の仕組みなどについて説明を行いました。また、実践編として、Nバスマップを活用し、目的地と時刻を設定して実際の行き方を調べる授業を行いました。



1. 南城市の公共交通 (Nバスナンバーの秘密)

こたえ



5. Nバスマップの見方



5. Nバスマップの見方 (番外編)

バス停で見る

系統	ルート	何分	何時
平日	B2 つきのしろの街	15	7:15
		20	7:20
		25	7:25
		30	7:30
		35	7:35
	B3 つきのしろの街	10	7:10
		15	7:15
		20	7:20
		25	7:25
		30	7:30
土日祝日	B2 つきのしろの街	15	7:15
		20	7:20
		25	7:25
		30	7:30
		35	7:35
	B3 つきのしろの街	10	7:10
		15	7:15
		20	7:20
		25	7:25
		30	7:30

※ 9時47分通過予定
◆ 10時台は運行なし

3. 今年度のMM教育実施内容

3-2 百名小学校4年生での取り組み

③乗車体験(南城市役所・斎場御嶽)

今年度は、「MM教育×社会科」を組み合わせた授業を実施いたしました。南城市におけるMM教育は現在2年目を迎えておりますが、単独のプログラムとして実施し続けるには継続性の面で課題がありました。そこで、既存の教科(社会科)と掛け合わせることで、持続可能なMM教育のモデルとなるのではないかと考え、今回の取り組みに至りました。この実践は、次年度以降、市内の各小学校において「MM教育×他教科」を展開していくための重要な参考事例となりました。



▲南城市役所での風景



▲斎場御嶽で説明を受ける様子

3.今年度のMM教育実施内容

3-2 百名小学校4年生での取り組み

④有識者による授業(谷田貝氏)

バスマップ沖縄の谷田貝氏を講師として招聘し、「南城市のみんなのバス『Nバス』が走るわけ」をテーマとした特別授業を実施いたしました。本授業は、MM教育の集大成となる新聞作成に向けて、Nバスをはじめ公共交通への理解を深めることを目的として行われました。授業内では、百名小学校の近くにある「百名バスターミナル」を出発するバスの便数を比較するなど、具体的な事例を交えた解説が行われました。児童たちにとって非常に身近な話題であったこともあり、皆熱心に講話に聞き入っていました。



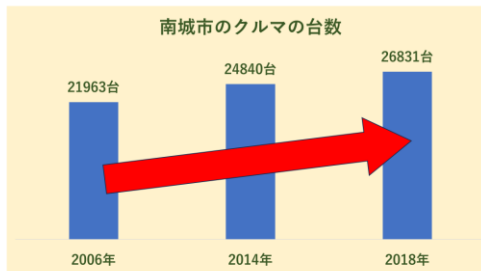
▲授業風景

那覇に行く「39番」の「百名」発の時間

(2006年)	(2014年)	(2018年)
5時 55	5時 28 58	5時 27 57
6時 25 52 55	7時 18 39	7時 17 56
7時 10 14 35 56	8時 00 18	8時
8時 17 39	9時 31	9時 30
9時 04 27 52	10時 08 35	10時 07
10時 07 32 56	11時 23 36	11時 22
11時 19 36	12時 06 56	12時
12時 03 22 53	13時 23 46	13時 42
13時 22 43	14時	14時 12
14時 13 41	15時 09 35 56	15時 08
15時 06 32 55	16時 23 39	16時
16時 20 35 59	17時 03 51	17時 02
17時 23 48	18時 31 55	18時 06 54
18時 03 28 51	19時 19 35	19時 15
19時 16 31 57	20時 25 48	20時 27
20時 25 44	21時	21時 27
21時 15 44	22時	22時
22時 10		

年がたつにつれて
次第に少なくなった。
なぜだろう？

クルマが多くなった！



▲授業資料



3. 今年度のMM教育実施内容

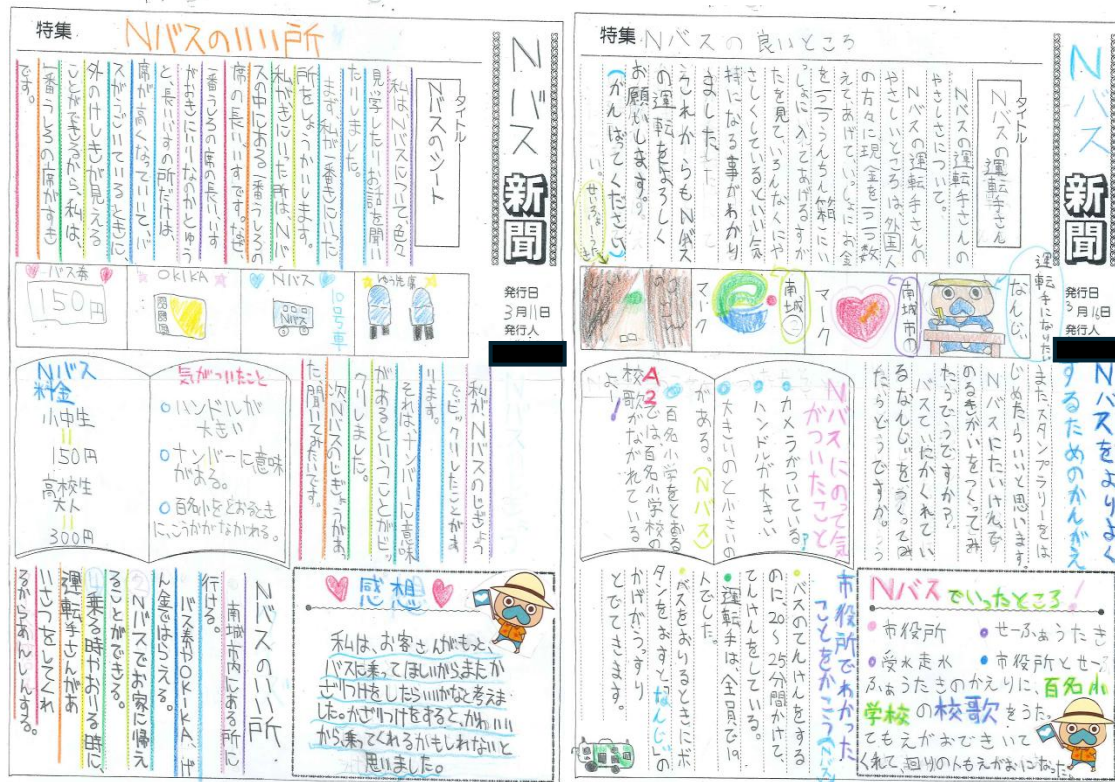
3-2 百名小学校4年生での取り組み

⑤プレゼンテーション・新聞作成

今年度、飾りつけや乗車体験、有識者による授業を踏まえ、Nバスに関するプレゼンテーションを行いまとめとして新聞作成を行いました。新聞では、Nバスをもっと知ってもらうためにどうしたらよいかや気づいたことなどが書かれていました。



▲プレゼンテーション時



▲作成した新聞の一例

4.今年度のMM教育実施内容

3-3 大里北小学校における取組概要

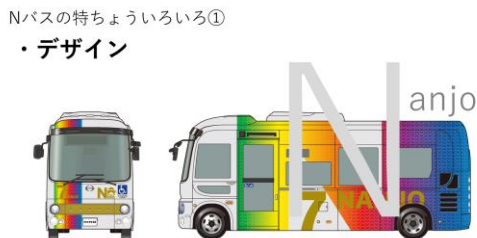
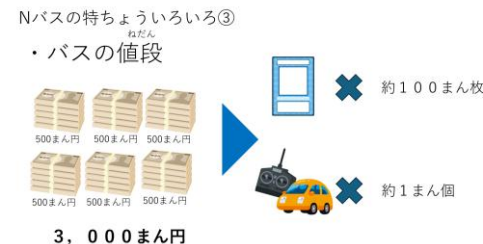
学年	実施月	取組名	取組概要
2年	11月	市交通政策課による授業 絵本の読み聞かせ	「南城市の公共交通って？」をテーマに出前授業を実施 授業後、令和6年度作成絵本を使用し読み聞かせ実施
	11月	乗車体験	生活科の「まちたんけん」の授業の中でNバスに乗車 Nバス運転手にインタビューを実施
特別支援学級	12月	市交通政策課による授業 絵本の読み聞かせ	「南城市の公共交通って？」をテーマに出前授業を実施 授業後、令和6年度作成絵本を使用し読み聞かせ実施
	12月	乗車体験	校外学習自立支援体験学習の一環でNバスに乗車。

3. 今年度のMM教育実施内容

3-2 大里北小学校2年生・特別支援学級での取り組み

①外部講師による授業(南城市交通政策課)

2年生および特別支援学級においては、それぞれ別日程で授業を行いました。同様の内容で実施いたしました。授業ではまず、「南城市の公共交通とは何か」について説明し、Nバスのデザインやナンバープレートの意味などを紹介しました。また、大里北小学校からNバスで乗り換えずにアクセスできる場所の案内をはじめ、Nバスの車両重量や価格といった具体的な数字を交え、児童たちが公共交通に対して興味や関心を持てるよう工夫して授業を行いました。



3. 今年度のMM教育実施内容

3-2 大里北小学校2年生・特別支援学級での取り組み

②乗車体験(南城市役所・イオンタウン南城大里 他)

2年生は、生活科の「まちたいけん」の授業において、Nバスに乗車して南城市役所まで移動しました。到着後、市役所内での業務見学や、Nバスの運転手へのインタビューを実施いたしました。

また、特別支援学級においては、「校外自立支援体験学習」の一環としてNバスに乗車し、市内の暮れのまちの様子を見学する学習を行いました。



▲2年生Nバス乗車体験後のインタビュー風景



▲特別支援学級N乗車体験風景



4.今年度のMM教育実施内容

3-4市内小学校Nバス車内飾りつけ Nバス車内の飾りつけ(市内小学校)

地域バスへの愛着醸成および利用促進、さらにはMM教育の周知・導入を目的として、児童によるNバス車内の装飾を実施いたしました。季節ごとのイベントに合わせて車内を飾り付けており、各小学校における実施テーマは以下の通りです。

【実施校】船越小学校:ハロウィン 馬天小学校:クリスマス 大里南小学校:バレンタイン



▲船越小学校

▲馬天小学校

▲大里南小学校

4. MM教育アンケート

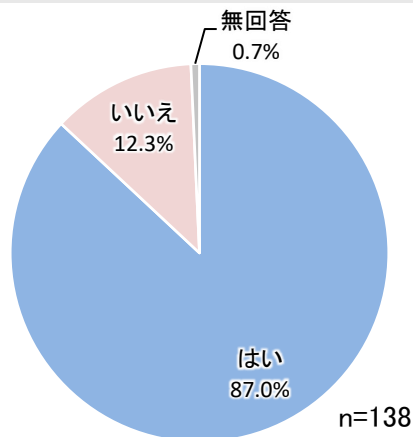
アンケート実施

実施校：佐敷小学校、百名小学校、大里北小学校

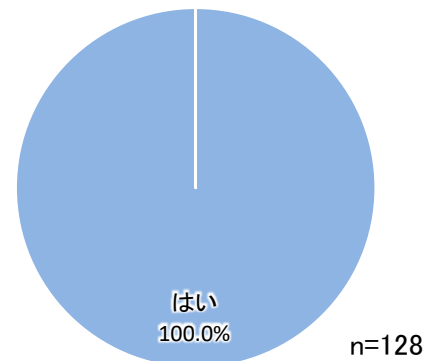
MM教育実施前後にアンケートを実施しました。主にNバスや路線バスなどの公共交通に対する認知度や利用状況、環境にやさしい移動を心掛けているかなどの設問を設けています。この調査は、MM教育を通じて、交通に対する子どもたちの意識や行動にどのような変化が生じたかを測ることを目的としています。

・ Nバスの認知有無

事前

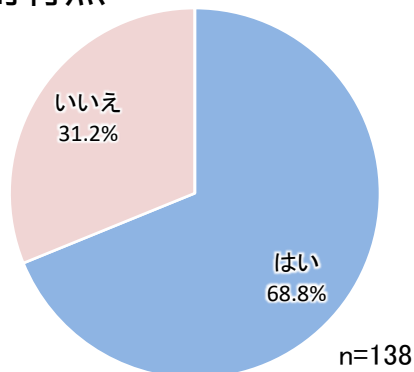


事後

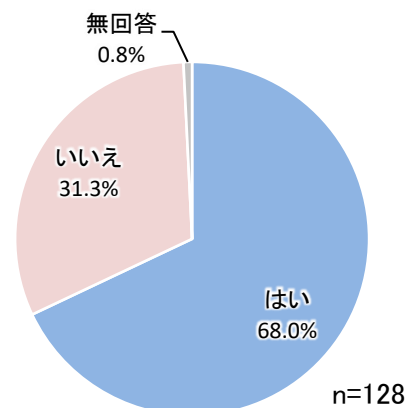


・ Nバスの授業外での利用有無

事前



事後



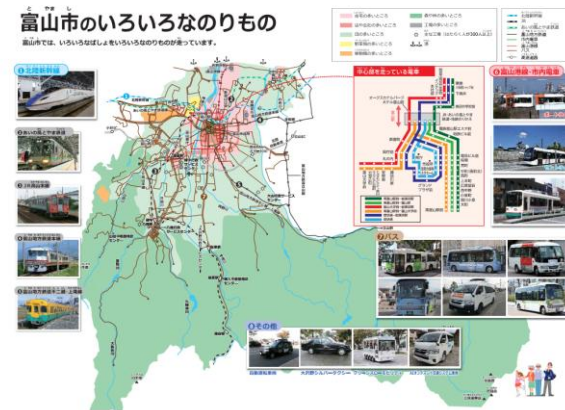
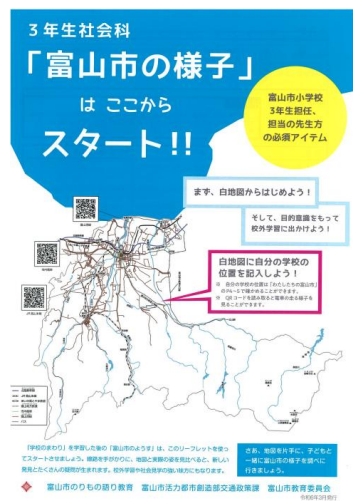
5.先進地視察

事務局等におけるその他取組

先進地視察(富山県富山市)

MM教育の先進地である富山県富山市の担当者と、当市の委員(新垣統括指導主事)および事務局(エコモ財団2名、市職員3名)にて意見交換を実施いたしました。富山市は、平成23年度から25年度にかけてエコモ財団の自治体支援を受けてMM教育を導入し、現在では独自の「富山版MM」を確立しています。具体的には、小学3年生の社会科において富山市の都市政策である「くしとだんごのまちづくり」を学ぶことを皮切りに、4年生、6年生と段階的かつ一貫したMM教育を実施しているとのことでした。

また、参考になる事例として、富山市では年度初めに教職員等を対象とした「のりもの語り教育研修会」を開催し、MM教育の事例紹介や学校間での意見交換を行っています。南城市においても同様の研修会等の取り組みを実施することで、市内全域へのMM教育の波及効果に繋がると考えております。



6. ツール紹介

令和7年度作成ツール

重ね捺しスタンプ

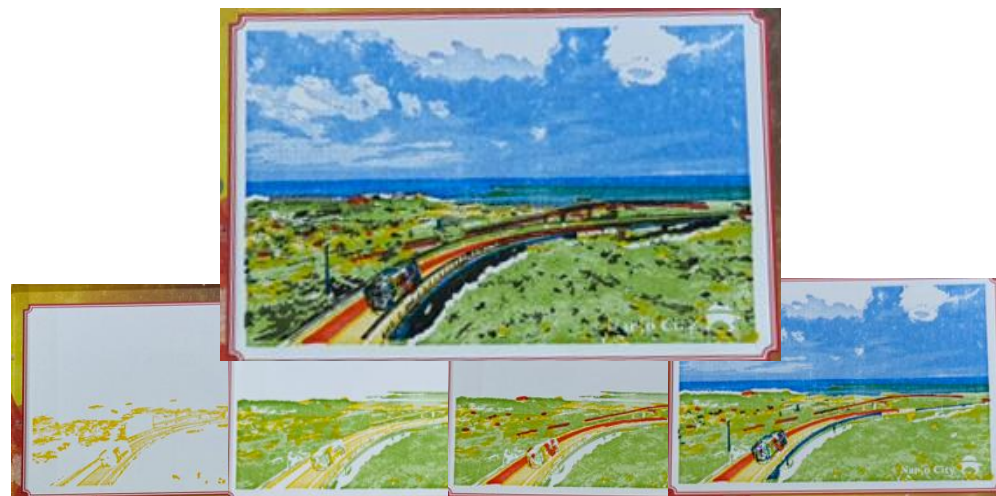
小学校におけるMM教育では、授業内でNバスの乗車体験を実施しておりますが、体験後に児童が自発的にNバスを利用する機会をいかに創出するかが課題となっております。そこで、授業後も楽しくNバスに乗りたくなるような動機付けとして、「重ね捺しスタンプ」を作成いたしました。デザインは、南城市を代表する観光地「ニライカナイ橋」を背景にNバスが走る風景を採用しています。制作にあたっては、1回のスタンプで満足してしまうことのないよう、色を重ねて1枚の絵を完成させていく工程自体を楽しめる精度の高い仕上がりを意識しました。

本スタンプは、次年度以降のMM教育において積極的に活用していく予定です。具体的な設置場所については、市の観光部局とも連携・調整を図り、バスを降車した後も周辺の散策等を楽しめるような魅力的なスポットへの設置を検討してまいります。



▲活用事例

出典:シャチハタスタンプラリーHP
https://rally.shachihata.co.jp/products/overlaid_stamped/



▲作成した重ね捺しスタンプ

6. 令和7年度事業のまとめ

3-1 令和7年度事業の評価

①取組の実施状況からみた評価

- 取組については、概ね予定通り実施。
- モデル校(佐敷小学校)では、2年目の取り組みとのこともあり、社会科、国語、総合の中でMM教育を絡めて実施し、ポスターセッションまで実施。
- 百名小学校4年生で新たな取り組みが出来たことは、今後につながる取り組みとなった。
- 大里北小学校での特別支援学級での取り組みは、今後展開していく良い事例となった。

②効果(児童の関心の高まり等)からみた評価

- 公共交通とSDGsの授業の中で、自家用車とバスのCO2排出量を比較した結果、自家用車の利用を控えることでCO2排出量を削減し、気候変動を抑えることができるのではなど具体的な意見が出たことはMM教育の成果が反映されていると思われる。
- 新聞の作成では、Nバスの利用者を増やすための取り組みや改善点などの掲載が見られ自発的な発信が見られたのは良かった。
- 飾りつけの中で、Nバスを知るきっかけとなり、その後個人的な乗車につながったことは、取り組みが活かされていると実感した。

③次年度以降の継続性からみた評価

- 各学校での乗車体験後、継続して乗車する必要があることから、Nバスと観光地をモチーフとした「重ね捺しスタンプ」を作成。令和8年度の授業等で活用予定。
- 今年度の継続性を踏まえ、学校との連携を十分にしていく必要がある。モデル校(佐敷小学校)の2クラスでの実施状況を踏まえ、授業計画の見直しを行う必要がある。
- 副読本別冊の策定に向け、教育委員会、学校現場と引き続き連携していく必要がある。